



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 不二製油株式会社
 コード番号 2607 URL <http://www.fujioil.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) IR・広報部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 清水 洋史
 (氏名) 隈部 博史

TEL 06-6459-0701

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	201,568	7.1	10,810	△11.0	10,696	△9.3	7,435	11.3
26年3月期第3四半期	188,270	7.5	12,147	9.5	11,790	8.6	6,679	1.3

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 12,245百万円 (0.5%) 26年3月期第3四半期 12,184百万円 (64.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	86.50	—
26年3月期第3四半期	77.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	226,359	146,540	61.5	1,618.45
26年3月期	202,206	135,124	63.3	1,490.00

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 139,122百万円 26年3月期 128,080百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
27年3月期	—	13.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	282,700	11.7	15,000	△1.6	14,600	△1.3	9,000	10.2	104.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	87,569,383 株	26年3月期	87,569,383 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	1,609,505 株	26年3月期	1,609,330 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	85,959,954 株	26年3月期3Q	85,960,300 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想値とは異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による金融・財政政策の効果を背景にして、企業収益の改善や株価の上昇が継続されましたが、貿易収支の赤字継続や消費税増税に伴う駆け込み需要への反動もあり、経済回復の遅れが見られました。一方、海外では、米国経済の回復が見られ、ドル高が急速に進みましたが、新興国経済の成長鈍化や特定地域における紛争など、先行き不透明な情勢が続きました。

当社グループを取り巻く国内食品業界では、円安による原料価格上昇が継続し、厳しい事業環境が続きました。

この様な状況の中、当社グループは新中期経営計画「ルネサンス不二2016」を策定し、「グローバル経営の推進・加速」「技術経営の推進・加速」「サステナブル経営の推進・加速」を基本方針として、顧客ニーズに即した製品開発、高機能素材の供給、生産コストの削減に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は2,015億68百万円（前年同期比7.1%増）、営業利益は108億10百万円（前年同期比11.0%減）、経常利益は106億96百万円（前年同期比9.3%減）、四半期純利益は74億35百万円（前年同期比11.3%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

(油脂部門)

国内では、業務用斗缶を中心とした調合油の販売数量が減少しましたが、ヤシ油・パーム油・チョコレート用油脂の販売数量増加及び販売価格上昇により、増収となりました。

海外では、米国・東南アジア・中国におけるチョコレート用油脂の販売数量が増加し、全体的な販売価格上昇と円安による円換算額の増加も寄与して、増収・増益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は773億14百万円（前年同期比10.0%増）、セグメント利益（営業利益）は41億65百万円（前年同期比26.0%増）となりました。

(製菓・製パン素材部門)

国内では、チョコレートは、スイートチョコ・アイスコーティングチョコ・成型チョコの販売数量が増加して増収となりました。クリーム・フィリングは増収、調製品は減収となりましたが、製菓・製パン素材部門全体の売上高は増収となりました。採算面では、全般的に原料価格が上昇し、減益となりました。

海外では、チョコレートは、ヨーロッパ・東南アジアでの販売が好調に推移しました。クリームは、東南アジアでの販売が増加し、マーガリン・ショートニング・フィリングは、中国・東南アジアで販売が増加しました。全体の売上高は増収となりましたが、日本向けの調製品の販売数量減と採算悪化により減益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は945億47百万円（前年同期比7.2%増）、セグメント利益（営業利益）は63億5百万円（前年同期比19.1%減）となりました。

(大豆たん白部門)

大豆たん白素材は、食肉・健康食品・水産市場・惣菜・加工食品・発酵培地用途の販売数量が減少し、減収となりました。大豆たん白機能剤は、飲料・加工食品用途が増加して増収となりました。大豆たん白食品は、即席麺・給食用途が減少して減収となりました。豆乳は、新製品の販売が寄与して増収となりました。大豆たん白部門全体は減収となり、大豆たん白素材の原料価格の影響により減益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は297億7百万円（前年同期比0.2%減）、セグメント利益（営業利益）は3億38百万円（前年同期比67.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ241億53百万円増加し、2,263億59百万円となりました。

主な資産の変動は、現金及び預金の減少8億61百万円、受取手形及び売掛金の増加137億13百万円、たな卸資産の増加23億16百万円、有形固定資産の増加25億8百万円、投資有価証券の増加29億73百万円、退職給付に係る資産の計上11億96百万円であります。

有利子負債（リース債務は除く）は、前連結会計年度末に比べ59億35百万円増加し、348億75百万円となりました。

主な純資産の変動は、利益剰余金の増加67億36百万円、その他有価証券評価差額金の増加18億11百万円、繰延ヘッジ損益の増加10億42百万円、為替換算調整勘定の増加12億81百万円であります。

この結果、自己資本比率は61.5%、1株当たり純資産は1,618円45銭となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ8億30百万円減少、前第3四半期連結累計期間末に比べ11億91百万円増加し、137億48百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で3億75百万円減少し、28億6百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益106億88百万円、減価償却費63億32百万円、仕入債務の増加額42億34百万円等による収入が、売上債権の増加額132億41百万円、たな卸資産の増加額18億32百万円、法人税等の支払額35億71百万円等の支出を上回ったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で25億55百万円支出が増加し、69億1百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出54億11百万円、関連会社株式取得による支出5億35百万円等があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で90億24百万円増加し、29億89百万円の収入となりました。これは主に、長期借入れによる収入45億46百万円、短期借入金による資金調達額の純増加額37億36百万円が、長期借入金の返済による支出26億29百万円、配当金の支払額22億34百万円等の支出を上回ったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月9日発表の通期の業績予想は修正しておりません。今後の事業環境の変化を見極めた上で、見直しの必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更並びに割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が718百万円増加、退職給付に係る負債が1,668百万円減少し、利益剰余金が1,536百万円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,651	13,790
受取手形及び売掛金	48,349	62,062
商品及び製品	20,556	22,135
原材料及び貯蔵品	20,840	21,577
繰延税金資産	1,419	570
その他	3,744	6,742
貸倒引当金	△85	△82
流動資産合計	109,476	126,795
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	28,966	28,442
機械装置及び運搬具（純額）	28,221	28,001
土地	15,951	15,914
建設仮勘定	1,584	4,777
その他（純額）	1,205	1,302
有形固定資産合計	75,930	78,438
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	12,763	15,736
退職給付に係る資産	-	1,196
繰延税金資産	135	116
その他	2,971	3,033
貸倒引当金	△192	△150
投資その他の資産合計	15,678	19,933
固定資産合計	92,729	99,563
資産合計	202,206	226,359

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,569	25,984
短期借入金	19,727	22,645
1年内償還予定の社債	20	5,010
未払法人税等	2,234	869
賞与引当金	1,894	1,124
役員賞与引当金	60	-
その他	6,188	10,071
流動負債合計	51,694	65,706
固定負債		
社債	5,000	-
長期借入金	4,192	7,219
繰延税金負債	2,270	4,449
役員退職慰労引当金	28	32
退職給付に係る負債	3,280	1,600
その他	614	810
固定負債合計	15,387	14,112
負債合計	67,082	79,818
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,208	13,208
資本剰余金	18,324	18,324
利益剰余金	94,835	101,571
自己株式	△1,746	△1,746
株主資本合計	124,621	131,357
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,585	5,396
繰延ヘッジ損益	79	1,121
為替換算調整勘定	379	1,660
退職給付に係る調整累計額	△586	△414
その他の包括利益累計額合計	3,458	7,764
少数株主持分	7,044	7,418
純資産合計	135,124	146,540
負債純資産合計	202,206	226,359

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	188,270	201,568
売上原価	151,834	166,362
売上総利益	36,435	35,206
販売費及び一般管理費	24,288	24,395
営業利益	12,147	10,810
営業外収益		
受取配当金	193	201
その他	392	456
営業外収益合計	585	658
営業外費用		
支払利息	356	259
持分法による投資損失	427	330
その他	158	182
営業外費用合計	942	773
経常利益	11,790	10,696
特別利益		
受取保険金	431	234
関係会社出資金売却益	-	39
特別利益合計	431	273
特別損失		
固定資産処分損	76	108
関係会社事業再構築損失	39	-
災害による損失	1,000	-
特別調査費用	-	109
事務所移転費用	-	62
特別損失合計	1,116	280
税金等調整前四半期純利益	11,105	10,688
法人税、住民税及び事業税	3,376	2,253
法人税等調整額	735	711
法人税等合計	4,112	2,965
少数株主損益調整前四半期純利益	6,993	7,723
少数株主利益	313	288
四半期純利益	6,679	7,435

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,993	7,723
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	826	1,810
繰延ヘッジ損益	△135	1,041
為替換算調整勘定	4,451	1,504
退職給付に係る調整額	-	171
持分法適用会社に対する持分相当額	49	△6
その他の包括利益合計	5,191	4,522
四半期包括利益	12,184	12,245
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,361	11,742
少数株主に係る四半期包括利益	822	503

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,105	10,688
減価償却費	6,534	6,332
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△15	-
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	-	△477
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	268
受取利息及び受取配当金	△269	△269
支払利息	356	259
関係会社出資金売却損益(△は益)	-	△39
売上債権の増減額(△は増加)	△7,995	△13,241
たな卸資産の増減額(△は増加)	△402	△1,832
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,266	4,234
その他	14	193
小計	8,059	6,116
利息及び配当金の受取額	271	269
利息の支払額	△348	△242
法人税等の支払額	△5,233	△3,571
保険金の受取額	431	234
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,181	2,806
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,179	△5,411
連結子会社株式取得による支出	△4	△0
関連会社株式取得による支出	-	△535
非連結子会社株式取得による支出	-	△114
連結の範囲の変更に伴う関係会社出資金の売却による支出	-	△33
その他	△163	△805
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,346	△6,901
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,661	3,736
長期借入れによる収入	-	4,546
長期借入金の返済による支出	△870	△2,629
社債の償還による支出	△10	△10
配当金の支払額	△2,234	△2,234
その他	△258	△418
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,035	2,989
現金及び現金同等物に係る換算差額	921	274
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6,280	△830
現金及び現金同等物の期首残高	18,837	14,578
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,557	13,748

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループ(以下 当社グループ)は油脂製品、製菓・製パン素材製品及び大豆たん白製品の製造販売を主として行っており、取り扱う製品群毎に国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品群を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「油脂」、「製菓・製パン素材」及び「大豆たん白」の3つを報告セグメントとしております。

「油脂」はヤシ油、パーム油及びパーム核油等を基礎原料とした精製油及びチョコレート用油脂等を製造販売しております。「製菓・製パン素材」はチョコレート、クリーム、ショートニング及び乳加工食品等を製造販売しております。「大豆たん白」は大豆たん白素材、大豆たん白食品及び豆乳等を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	油脂	製菓・製 パン素材	大豆たん白	計		
売上高						
外部顧客への売上高	70,304	88,187	29,778	188,270	—	188,270
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,640	531	1,941	11,114	△11,114	—
計	78,944	88,718	31,720	199,384	△11,114	188,270
セグメント利益	3,307	7,793	1,045	12,147	—	12,147

(注) セグメント間取引消去によるものです。なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考資料)

所在地別セグメント

(単位：百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	計	調整額	合計
売上高							
外部顧客への売上高	127,604	34,662	13,819	12,183	188,270	—	188,270
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35	26,072	458	29	26,595	△26,595	—
計	127,639	60,735	14,277	12,213	214,865	△26,595	188,270
セグメント利益	9,049	2,626	219	461	12,357	△210	12,147

(注) 1 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域…アジア：シンガポール、マレーシア、中国、フィリピン、インドネシア、タイ

米州：米国

欧州：ベルギー

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループ(以下 当社グループ)は油脂製品、製菓・製パン素材製品及び大豆たん白製品の製造販売を主として行っており、取り扱う製品群毎に国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品群を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「油脂」、「製菓・製パン素材」及び「大豆たん白」の3つを報告セグメントとしております。

「油脂」はヤシ油、パーム油及びパーム核油等を基礎原料とした精製油及びチョコレート用油脂等を製造販売しております。「製菓・製パン素材」はチョコレート、クリーム、ショートニング及び乳加工食品等を製造販売しております。「大豆たん白」は大豆たん白素材、大豆たん白食品及び豆乳等を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	油脂	製菓・製 パン素材	大豆たん白	計		
売上高						
外部顧客への売上高	77,314	94,547	29,707	201,568	—	201,568
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,977	338	2,520	12,837	△12,837	—
計	87,291	94,886	32,227	214,406	△12,837	201,568
セグメント利益	4,165	6,305	338	10,810	—	10,810

(注) セグメント間取引消去によるものです。なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考資料)

所在地別セグメント

(単位：百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	計	調整額	合計
売上高							
外部顧客への売上高	132,351	38,783	15,925	14,507	201,568	—	201,568
セグメント間の内部売上高 又は振替高	49	22,508	299	88	22,946	△22,946	—
計	132,401	61,291	16,225	14,596	224,515	△22,946	201,568
セグメント利益	7,117	1,606	584	1,241	10,548	261	10,810

(注) 1 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域…アジア：シンガポール、マレーシア、中国、フィリピン、
インドネシア、タイ
米州：米国
欧州：ベルギー

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、第1四半期連結会計期間より、新規事業創出と確実な事業化を図るため、組織改定を行っております。これに伴い、新規事業に係る費用について各報告セグメントへの配賦率を変更しております。

また、連結子会社であります不二製油(張家港)有限公司は、従来「油脂」に含めておりましたが、同社における「製菓・製パン素材」の量的な重要性が増したため、各報告セグメントの経営成績の実態をよりの確に把握することを目的に、第1四半期連結会計期間より同社の業績を「油脂」及び「製菓・製パン素材」の報告セグメントに区分する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の算定方法及び変更後の区分方法により作成したものを記載しております。